

大阪ごみを考える通信

NPO 法人 大阪ごみを考える会

<http://osaka-gomi.sakura.ne.jp/>

【連絡先】吹田市江坂町 4-23-7-309 水川方

TEL/FAX (06) 6338-3908

【郵便口座】00960-9-251431

2020年度 NO. 1 2020.5.31

目 次

1. アジェンダ 21 すいたと吹田市による食品ロス削減の取り組み

食品ロス削減推進法が2019年に成立、2020年には基本方針が出された。吹田市ではそれに先がけ、食品ロス削減に取り組んでいる。私たちの日々の食生活と密接なつながりのある、この法律により、これまでなかなか進まなかったドギーバッグや、フードバンク寄付へのハードルを下げる役目を持つような仕組みづくりが望まれる。

2. 廃プラ回収の方法

オランダの高校生がオーシャン・クリーンアップという研究団体を立ち上げ、海流を利用した廃プラ回収システムを思いつく。この回収システムは日本でも使われていたようだ。日本国内でも、プラと生ごみを分別する装置を中小企業が作っている。海にすでに流れ出た廃プラの回収と、海に廃プラを出さない、二つのシステムが必要だ。

3. エッセイ 『ごみは面白い』

ごみめぐる、よもやま話を紹介します。これから紙面にこのコーナーが登場しますので、ご期待あれ！新型コロナウイルスの出現は、新たなごみを増やしています。マスク然り、カフェでは使い捨て容器に逆戻りしているし、エコバッグは感染を拡大すると言われて悪者にされそうです。

4. コラム アイヌ語の不思議 23 エサシが大阪にある？

今回は、かつて大阪市内に住んでいたものにとっては懐かしい、大阪市内の地名を古地図とともにひも解きます。アイヌ語の連載を行ってきましたが、英語を学ぶのと同じように、単語帳を作ると深く理解できるのではと考えています。

アジェンダ 21 すいたと吹田市による食品ロス削減の取り組み

アジェンダ 21 すいた 食品ロス削減 PT 水川晶子

食品ロス（本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品）が日本国内で大量に発生しています。環境省のデータでは、平成29年度推計で事業系が約328万トン、家庭系が約284万トンで、両方で約612万トンになります。一方で、世界では食料が足りず援助が必要な人々がいて、平成30年の年間食料援助量は約390万トンと言われており、私たちはその約1.6倍もの食品を捨てているのです。

「アジェンダ 21 すいた」食品ロス削減プロジェクトと吹田市の活動

(1) 「すいた食べきり運動」キャンペーン

私は「アジェンダ 21 すいた※」の会員で、食品ロス削減 PT に属しており、吹田市と共に「すいた食べきり運動」キャンペーンを展開しています。ステッカーやポスターなどの啓発グッズを持って飲食店や居酒屋などに出向き、「すいた食べきり運動推進協力店」への登録をお願いする活動です。

平成30年11月から平成31年1月にかけて、JR吹田駅周辺と大阪メトロ江坂周辺で54店舗の協力を得、また令和元年11月から令和2年2月にかけて阪急沿線のお店を訪問し、20店舗を追加、合計74店舗が登録しています。

啓発グッズの内容は、お店用として、ポスター・ステッカー・卓上シート（小盛りメニューあり、ご飯の量が選べる、持ち帰りできる）・幹事マニュアル（①幹事さんから食べきりの声かけ、②よく考えて適量注文、③箸、皿持って席移動、④食べきれないときはおすそ分け（メンバーでシェアする）、⑤開始15分、終了15分は食べきりタイム、の5項目）の4種類を用意しました。イベント用の缶バッジも含めて、この啓発グッズは、大阪湾広域臨海環境整備センターの助成金（半額助成。上限が20万円であり、私たちは総額25万2千円のうち12万6千円を交付された）を使用して作成したものです。

この幹事マニュアルを、私が参加している気功サークルの新年会で紹介しました。趣旨を説明したところ、その日の宴会の食品ロスはゼロになりました。話せばわかることを実感しました。



（※アジェンダ 21 すいた：吹田市環境部に事務局を置き、市民・事業者・行政の三者協働で環境問題の解決に取り組む組織）

お店を訪問する中で、「本部の方針で、閉店間近でもたくさんの商品がショウケースに残っていないといけない」と売れ残りが大量に出ることが予想できることや、持ち帰りについては、当然のことと認めているお店がある一方で、「保健所が自己責任を認めてほしい。店の責任を問われるからできない。昔はできたが今はできない風潮だ。」と食中毒への心配から躊躇する店が多いこともわかりました。消費者は、そのような過剰ともいえるサービスを果たして望んでいるのでしょうか？また、自分たちが費用

を払って注文した食品を持ち帰りできないことと併せて、食品廃棄物が増える現実、価格に跳ね返ることにつながります。

また、吹田市は「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」にも参加しています。令和2年4月現在421自治体が参加して情報交換などを行う、横のつながりです。

(2) イベントでの啓発活動

私たちは、これまで2度のイベントに出向き、参加者にクイズ形式で食品ロスの現状を伝えてきました。2019年8月にパナソニックスタジアム吹田（ガンバ大阪のホームスタジアム）で行った「吹田スタジアムフェスタ 2019」に参加。2020年1月にはすいた環境教育フェスタに参加しました。環境イベントは参加者が環境に関心のある人が多いのに対して、サッカースタジアムでのイベントは必ずしも環境に興味がある人たちではありません。むしろそういった異分野のイベントに参加し、訴えていくことがすそ野を広げることにつながると考えています。

イベント出展の内容は、パネルを見て（クイズの答えが書いてある）クイズとアンケートに答えてもらうことです。食品ロスの量や賞味期限と消費期限の違いや、日本国内で膨大な食品ロスが発生すること、世界の食料援助量よりも多い食品ロスの量を知った人は、少なからずショックを受けるようで、「今後、あなたが食品ロス削減のためにできることを書いてください」と自由記述を促すと、「食べ残しをしない」「食べられる量を料理する」「食べきれない量しか注文しない」「買う物を決めて無駄に買わない」など、積極的にロスを削減する内容をほとんどの人が記入してくれました。

「食品ロス」という言葉を知ってはいても、実際の発生量がどのくらいかは知らない人が多いのではないのでしょうか。家庭での「食べ残し」や、「無駄に買った食材を腐らせて捨ててしまった」などは、少しの心がけで減らすことができます。事業系のロス削減も私たちの行動と無関係ではありません。「飲食店で食べ残しをしない」ことや、「今日食べるにも関わらず棚の奥の商品を選ぶと、古いものが売れ残ってしまう」ことなど、参加者に食品ロスについて情報提供すると、『日本の食品ロスが他人事でなく自分事として認識でき』、自分たちの行動が食品ロス削減につながる『気づき』を促す効果がありました。

食品ロス削減推進法が成立

2019年5月24日、「食品ロス削減推進法」が全会一致で成立。5月31日に公布、10月1日より施行されました。その後、2020年3月31日には「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が閣議決定されました。

2015年9月に決まったSDGs（持続可能な開発目標）12番目の中に「2030年までに世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させる」という目標が設定されており、基本方針の中でも、これらの削減目標の達成を目指すと書かれています。

世界や国内での貧困問題にも触れ、未利用食品を利用したフードバンク活動への支援や、食品の提供等の伴う責任のあり方について調査研究を行うことにも触れています。

今後、都道府県及び市町村で食品ロス削減推進計画を定める動きが始まりますが、食品関連事業者の「3分の1ルール等の商習慣の緩和」や、飲食店で「食べ残しの持ち帰りが普通に行える」などの、現場の仕組みを変えていく本気度が求められています。市民・事業者・行政が一丸となって、実質的に半減していける現場に即した「食品ロス削減推進計画」の作成に向けて、取り組む必要があると考えています。

廃プラ回収の方法

3月号では、プラ関連業界が海洋プラ問題の盛り上がりを利用して、懸案の容リプラのマテリ優遇策の是正を目指し、LCA解析した結果を公表していること、及びそれを活用してマテリはCO₂を削減するどころか反って増やしているという報告をしました。

今月号では、国は海洋プラ問題の一環としてプラ袋の有料化施策を強化するという本末転倒の策しか実践していませんが、世界に目を向けると、海洋プラを現実に回収する船を造り年1.4万トン回収しているオランダのNGO団体の活動（4月29日付け日経）があります。

（１） ボイアン・スラットさん

- ◎1994年にオランダに生まれたボイアンさんは、16歳の時スキューバダイビングしている時海中プラごみの多さにびっくりして活動開始。
- ◎海流によりプラごみが集中する「ごみベルト」があること発見し、回収装置を海流に乗せ適切なところまで運搬して回収するアイデアを思いつく。
- ◎13年にNGOオーシャン・クリーンアップを立ち上げ。
- ◎マスコミに取り上げられクラウドファンディングで資金を募ったところ160カ国、3.8万人の個人・企業から220万ドル（2億4千万円）の寄付があった。このうち日本からの寄付額はトップ5に入るという。
- ◎200人のスタッフが集まる。
- ◎河口付近に「インターセプター」という回収船を配置し、流れ着いたプラごみを回収。
- ◎インドネシア、マレーシア、ドミニカ共和国などにこの船を配置し、25年までに1千の川に配置する計画。

「検索」すると日本の壱岐・対馬沖でも16年に実施されていました。しかし、回収したプラごみをどこでどのように処理したのかについては書いていないのです！おそらくは行政のごみ焼却炉で燃やしたのだと思います。日本ではそれでOKだが、日々多量のプラごみが水面が見えないほど捨てられ、しかも日本のような収集システムや焼却炉がない東南アジアではお手上げになるのは必至なのに、記事の書き手も読者もそこに関心が向かないのです。当会の存在意義はまさにそこにあるので、次項では日本の中小メーカーの優れた事例を報告します。

（２） モキ製作所

TVの「ガイアの夜明け」で長野県千曲市にあるモキ製作所が、コンビニ弁当をプラと生ごみに99.9%の精度で分別する装置を造り、人気が高まっていると報道されていました。この装置は300万～数千万円程度と安価なので、社員がフィリピンに営業に行って海岸に流れ着いたプラごみをキレイに分別する現地実験をしたところ、行政も関心を持ち納入の方向に話が進んでいるとの紹介もありました。このように、日本の小さいメーカーが非常に優れた機械を造り、困っている東南アジアを助けようとしているのを見て、モキ製作所を詳しく知りたくなりHPを見た結果わかったことを以下に述べます。

1) 廃プラ分離装置

モキ製作所が造っている廃プラ分離装置は日量数トンから数十トンの小さな装置で、民間の食品工場等約1500社へ納入されています。



HPでは詳しい納入先はわからないのでパンフを取り寄せたところ、コープこうべ、ダイエー環境、三重中央等々関西地方でもけっこうありました。びっくりしたのは川上さんの関紀産業にも納入されていました！川上さんに確かめるとビニール入りのパンから、袋を分離するのに使っているとのことでした。汚れたプラ袋を洗うシャワー付きで約500万円で調子はよいとのことでした。

関汽産業で使われている廃プラ分離装置

通例分別精度は9割台程度ですが、それでは餌や堆肥原料の中に異物が混じってしまい使えないのでたいていは手選別して異物を除いています。ところがモギの装置は99.9%を誇っており、実際TVでもよく取れていました。装置内部に工夫したプロペラがあり回転方向を逆転したりして精度を上げたり、水の噴霧装置も工夫してプラに生ゴミがつかないようにしているようでした。



関汽産業で使われている廃プラ分離装置

2) 網走市に導入されていた

行政関係にも北海道の網走市、士別市、美瑛市、京都の京丹後市等の小規模行政で生ごみを堆肥化する装置として納入されています。北海道の網走市のHPを見ると確かに導入され稼働していることがわかりました。

網走市（人口3.5万人）は生ごみだけを分別収集して、これを1日当りの時間あたり処理能力2トン（日換算約13トン）の施設（納入価格2千万円）に搬入しています。家庭だけでなく事業所等から出る生ごみもこの施設で堆肥化処理しています。生ごみは一旦貯留ヤードに荷卸しし、その後破袋機に投入され、生ごみと収集袋（異物）に選別されます。選別された生ごみは副資材と混合し、水分調整作業を行い、発酵槽へ移されます。その後攪拌を繰り返し、24日間掛けて堆肥化をするという施設になっています。「異物は、袋に入れ埋立場へ運ばれます。」と書かれているから廃プラ等は焼却せず埋め立てられているようです。網走市の説明図には焼却炉が書かれていないので無い可能性が大了。

（記 森住明弘）

『ごみは面白い』

初めまして楠大吉です。大阪の南河内生まれで誰でも知っている有名人は皇居前に乗馬像がある楠木正成です。鎌倉時代末期から南北朝時代にかけての武将、楠木正成を祀る首塚は三か所もあります。(河内長野市観心寺 羽曳野市杜本神社 館林市楠木神社) どれも地元にとっては由緒あるのでしょう。私の好きな武将です。楠木正成にちなみ楠の文字のつく街に住む吉田が余生こそ大吉でありますようにと念じつつもじって付けたPN楠大吉です。

ごみは見た目良いものではありませんが考えれば考えるほど面白いのでこれからはこの「楠大吉」がちょっとおかしい話を書かせてもらいます。

(1) ごみ収集袋の指定袋と推奨袋

平成の初めのころごみが急激に増えてきて工場能力不足が懸念され始めた。ごみ減らしを目的に黒い袋をやめて透明のごみ袋を推奨することになった。住民に推奨袋を使ってくださいと周知した。市内の販売店には黒袋の販売を止めてもらった。職員の私も一市民なので私はその時の上司に尋ねた。「推奨だからまだ家に残っている黒い袋は出してもいいのですよね」答えは「それは収拾できない」だった。聞き直しても同じだった。

『**市燃えるごみ収集袋』などと印刷された指定袋で出してくださいという市町村があるが私のところは市販の透明袋を使ってくださいと推奨したのである。市民へのお知らせは推奨袋なのに言葉では黒は禁止、透明袋しかだめと言っているのである。お知らせをよく読んだ人は黒でも当面構わないと理解できるが、耳だけで知った人は黒袋を出した人を非難するような事態になってしまう。結果はほとんど混乱しなかったが私にはもやもやが残った。

今渦中の COVID-19(新型コロナウイルス)で市町村はお出かけ自粛を要請している。ニュースでもTVワイドショーでも言っている。これは協力要請と言うべきではないか。自分に別の思いがあっても合わせるというのは協力することではないか。

自粛とは:自分から行いや態度をつつしむこと。他人から言われてするものではなく自分の考えでするものだ。「自粛要請」がなぜおかしいのかは、粛を害に読み替えてみるとわかる、自粛→自害とは自殺。「自殺要請」自殺を求めることはまるでどこかの学校であつたいじめそっくりだ。

森住先生によると「彼等はこれを決して間違いだと思っていない！ 俗人で少し権力を持った人の発想法はすべて自分に責任が及んで来ない言葉遣いを必死で探す習性をもっている。」それで私の元上司もそういうことだったのかとつかえがおりた。COVID-19は命にかかわるので協力は惜しまないが、このように間接的に自粛しろと言ひ替え、巧くいかなかくても言い逃れして責任を回避するずるいやり方なのである。テレビも自粛要請を受諾しない人を糾弾するような報道を見ると疲れる。世の中は俗人が多数派だということなので楠大吉というペンネームにして”災い”を逃れることにさせてもらった。

(2) ペットボトルに思う

ペットボトルは割れないし昔のプラスチックのように移り香もしない。ガラス瓶のように気を遣わずに扱える。素晴らしいもののなのに雑に扱われ容器としての用が済めば紙くずと同じような感覚

で捨てられる。このように人に存在や値打ちを意識させないほど便利なペットボトルなのにその処理となるとどうして消費者の手を煩わせるのだろうか。させているのはお役所だ。

ペットボトルはボトル部と蓋とラベルで作られている。私の市では回収日に出すときはボトル部だけにして蓋とラベルはその他プラの日に出さなければならない。市によってきまりが違うようで、枚方市をはじめとする北河内4市の場合は外した蓋とラベルはボトルと一緒に出すことになっている。詳細は違っても蓋とラベルを外すことだけは共通している。収集した後選別してボトル部だけを圧縮しベールと呼ばれる塊にしてリサイクル事業者に売却される。

PET 樹脂をリサイクルするには純度が高いほうが良いので材質が違う蓋やラベルを外せというのが蓋のリングがボトルの首に残ってしまうので純 PET になっていない。リサイクル工場では PET ボトルを粉碎して水に入れる、首に残ったリングやラベルは浮くので選別できる。もし蓋やラベルが同一材質で作られたならこのような手間は不要となるのだがボトルと異なる機能を求められるので現状では違うプラスチックが使われている。

ペットボトルの作り手は機械である。一方ごみに出すのは人手、分別も人手。消費者の手に渡るまで自動化・省力化できているのに、消費者の手から離れリサイクルするには人手がかかりすぎる！ 人間が翻弄させられている。まるで餅撒きロボットが撒いた餅を拾って食べている人間の姿みたいだ。

現在の古 PET 価格を調べてみた。蓋やラベルが付いたままのボトルを圧縮したものの価格は約 15 円/kg で、蓋やラベルを外したボトルは同様に約 25 円/kg ということがわかった。外す手間が 10 円/kg の価値を生んでいる。

PET ボトルをただ市町村の収集に出すだけでは面白くない、スーパーなどに古紙回収ステーションが置かれていてポイントをくれるようなシステムが一部でできている。このように PET ボトルについてもポイントをくれるシステムは出来ないだろうか。(またはお金) 買い物に行くときボトルに残るリングも外して 100%PET 樹脂にして持っていくと高く高くとってくれて外してないボトルならば安くなってしまうというゲーム感覚で回収(買取)ステーションができないだろうか。リング外しの道具をくれたりしても面白いと思うのです。

(3) マスク放置

COVID-19(新型コロナウイルス)の感染防止のためマスク着用がほぼ義務付けられたように着用しているが、散歩していると必ず落ちているのが目に入る。マスクのポイ捨てである。この時期だから誰も触らない、触りたくない。手袋やハンカチが落ちていても、およそ人が身に着けていたものは誰も拾わない。拾いたくない。いずれ川に流れる。海に出る。これから問題になること間違いなし。コンビニのレジ袋は無くさないでほしい。マスクを入れて捨てるにはちょうどいいサイズである。余りに多くマスクが捨てられるようになると鳥が巣の材料にするかもしれない。鳥に感染して拡がるかも、どうしよう！？

(記 楠大吉)

エ サ シが大阪にある？

加藤 昌彦

「♪津軽の海を越えて来た 峙^{ねぐら} もたない みなしごつばめ 江差恋しや 鯨 場恋し♪」の歌い出しの「ソーラン渡り鳥」などを口笛吹きながら、自転車で良い機嫌で、仕事場から家路についています。私は73歳。

冒頭から脱線ですが、コロナの時期、家に閉じ込められ原稿書きばかり。体が苦しんでいるので、3密を避けてアイヌ語地名探索に行きました。それはある本の中に「高津」という地名が「kot；凹地」と解いてあったからです。これは面白いと思い、地下鉄の鶴橋を降りて、上町台地を東から西に横断しました。

駅を出て、最初にぶつかったのは「餌差町」。「？」。北海道にも江差があります。ずっと昔、ここはそういう職業の人が住んでいたのか、と思っていたのですが、アイヌ語地名を調べている身となった今、縄文語からきているのか、と俄かに色めました。考えてみると、エサシは「E-sa-usi：頭を・浜に・向けている所」。かつて上町台地の東部は河内湖で、餌差あたりは浜の近くであってもおかしくはない所です。その後、上町筋までを登り下りを繰り返しながら上がり、上町筋を最高地にして、谷町筋、松屋町筋を下っていきます。上町台地は標高30^{ねぐら}ぐらいの台地ですが、それでも東京の武蔵野台地の高低差を少しは感じさせます。

高津の宮に着きました。ここは上町台地から下るところにあり、窪地的なところに位置しているとも言えます。生玉神社も高津宮のちょうど南にあたり、その西は上町断層の断崖が走っています。

この西は松屋町筋が走っています。アイヌ語で解くと、「matu-ya：岸辺の・丘」です。なにか牽強付会な匂いがしてきましたが、そう解こうとすれば解けます。前にも横断したことがあったのですが、新しい発見となりました。

この機会に上町台地周辺の地名を解いてみたいと思います。

①天満「tenmum-oma：海草が・打ちあがる所」。

②ナニワ（浪速・難波）：「nani-pa：流れが・早い」。

天満を通過する水路の旧淀川は、河内湖と茅渚の海をつなぐ狭い水路。干潮・満潮ごとに水が海へ、湖へと大きく流れました。そのために流れが速かったのでそう命名された？

③東大阪市の出雲井。Etu-moi：岬にある・静かな湊。

枚岡神社から突き出た所です。ここまで河内湖が来ていたと

思われます。④瓜破。Uriri-wa-ri：鵜飼（がたくさんいる）

岸の高地。⑤放出。Ham-temmum-ya（木の葉の・海芥の

ある陸岸）。⑥玉造。tomam-tukari：湿地の手前。この北に

は森之宮縄文遺跡があります。⑦恵比須。E-pis：頭が浜に向

かっている。江戸時代までは神社の西は海でした。⑧日下。Kus-ka：越す・高地。『古事記』の

も登場する渡船地。また、中央区の深江、大東市の深野池は、漢字が示すような深い所ではなく、

hutka：浅瀬、のように思います。ではまた。

